AB統合版
日刊ゲンダイ
〈日刊〉第10054号
3月17日(水)
2010年3月16日発行

就活学生に薦めたい

人気より経営力で選んだ20社

「大卒内定率80%」の就職大氷河期の中で、就活はかつてない厳しさだ。大学生の子どもを持つ親にとっても切実な問題である。それだけに就職先選びは慎重を期したい。

新卒向け就職情報首位の学情が、2011年3月卒業予定の全国大学3年生・大学院1年生を対象に実施した就職希望調査によれば、入社したい企業の総合ランキング人気ベスト3は、ANA（全日本空輸）、JTBグループ、資生堂だった。上位10社には、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行のメガバンク、伊藤忠商事、パナソニック、オリエンタルランド、さらに味の素、明治製菓の食品が入った。いずれも一流であり有名企業だが、人気企業を選択するのは本当に正しいのだろうか。

「企業選びをする上で、希望する会社の経営状態を把握しておくことが欠かせません。売上高は会社の稼ぐ力であり、純利益は儲ける力。そして営業キャッシュフロー（CF）は、本業でしっかり稼いでいる上に、会社にきちんとお金が入っているかを示す指標です。これら3つのポイントは押さえておきたい」

こうアドバイスするのは、企業価値検索サービス「ユーレット」を運営するシステムコンサルティング「メディネットグローバル」の西野嘉之社長だ。そこで、東証1部上場企業約1700社の有価証券報告書（2010年2月末までに提出済み）から、過去3期にわたって売上高、純利益、営業CFがいずれも前年比で増加している、いわゆる〝右肩上がり〟の「三冠王」企業を抽出した。

学生の人気ランキングに登場する企業とずいぶん違う。100年に一度の大不況といわれる中で、あのトヨタ自動車でさえ赤字に転落する憂き目を見た。別表にある20社は、そんな厳しい時代をくぐり抜けてきたのである。ちょっとやそっとでグラつかないはずだ。

人気企業になびきがちな学生たちに、きちんとしたアドバイスをする。それが親の役割である。

経営力で選んだ「就活」20社

会社	業種
イオンディライト	商業ビルなどの施設管理首位、イオングループ
エービーシー・マート	靴小売専門店「ABCマート」展開
カカクコム	価格比較サイト「価格.com」は業界首位
空港施設	羽田、伊丹など主要空港の運営
ケーズホールディングス	北関東地盤の家電量販店
コーナン商事	ホームセンター大手
ザッパラス	携帯向け占いサイト
ディー・エヌ・エー	携帯向けゲームサイト「モバゲータウン」
東和薬品	ジェネリック医薬品大手
トリドール	焼き鳥からうどん店まで運営する外食
ニトリ	全国トップの家具製造小売りチェーン
日本電工	合金鉄1位で新日鉄系。リチウムイオン電池も
ビー・エム・エル	臨床検査2位、生化学的検査に強み
マルエツ	首都圏の食品スーパー大手。イオン筆頭株主
丸大食品	ハム・ソーセージ大手
明光ネットワークジャパン	個別指導の補習塾「明光義塾」を展開
ヤフー	ネットサービス最大手
大和工業	独立系電炉大手
ユニ・チャーム　ペットケア	犬や猫用ペットフード製造・販売
ライフコーポレーション	食品スーパー大手。三菱商事の持分法適用会社

企業説明会には就活学生がいっぱい

決め手は　売上高　純利益　営業CF